

外来における在宅療養支援能力向上のための研修 (eラーニング講義個人受講 + 演習)

在宅療養支援の要となる外来看護職員を対象とした研修です
令和6年診療報酬改定「在宅療養指導料」で療養指導を行う保健師、助産師又は
看護師がこの研修を修了していることが望ましいと追加されました。

研修目的

- ▶ 外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
- ▶ 習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

対象

外来勤務の看護職員（常勤や非常勤等の雇用形態、また、短時間勤務等の勤務形態は問わない。救急外来勤務も含む）

受講方法

①インターネットを利用したeラーニング講義を受講②事前課題提出③演習を受講（演習受講には、eラーニング講義の修了が条件となります）

日時/場所

eラーニング受講期間：令和6年9月20日（金）～ 令和6年11月29日（金）

課題提出： 令和6年12月3日（火）

演習日時： 令和6年12月14日（土）13:30～16:00

演習場所： 高知看護協会

受講料（税込み）

会員：3,300円 非会員：9,900円

申込期間：

令和6年7月20日（土）
～8月31日（土）

申込方法

看護協会ホームページより、申込書をダウンロードし、必要事項を入力後メールにてお申込み下さい。
詳細は高知県看護協会ホームページをご確認ください。

★eラーニング・事前課題・演習すべて受講した方に修了証を発行します。

外来における在宅療養支援能力向上のための研修プログラム

① ● eラーニング講義【200分】

章	単元／主な内容	講師(所属等) ※敬称略	時間
1	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 (公益社団法人日本看護協会常任理事)	40分
2	外来における在宅療養支援 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田 智子 (慶応義塾大学看護医療学部教授)	40分
3	在宅療養を支える地域連携とネットワーク 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	吉田 千文 (常磐大学看護学部教授)	40分
4	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井 淳子 (東京女子医科大学病院家族支援専門看護師)	40分
5	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. 地域における多職種連携・協働の実際と推進の必要性	松本 明子 (医療法人社団聖カタリナ病院ナースマネージャー)	40分

② ● 事前課題

eラーニングによるすべての講義を受講後、下記の①②、または①③のテーマで課題を提出する。

- ①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
- ②外来看護に関する実践事例
- ③外来における療養支援について自身が感じている課題 締切り12月3日(火)

③ ● 演習【150分】

主な内容	
講義	高知県における、医療・看護を取り巻く状況等について
事例検討	グループディスカッション
全体共有	グループからの報告及び質疑応答・意見交換